

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活の中の数学 Accessible Mathematics		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小林 大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
日常生活の中で使う数学は主に中学校レベルのものであり、就職試験で出題される数学の問題のレベルもこれにほぼ該当する。本講座では中学校で学ぶ数学全般にわたって復習する。				
授業の到達目標				
①方程式を理解できるようにする。 ②場合の数を理解できるようにする。 ③グラフ、図形を理解できるようにする。				
授業の方法				
SPIの問題集を用いて、項目別に解説する。				
学習の成果				
①中学校レベルの数学の問題を解くことができる。 ②SPIの非言語領域の問題を解くことができる。 ③論理的思考ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	鶴亀算 濃度算			
第2回目	仕事算 水槽算			
第3回目	植木算			
第4回目	損益算			
第5回目	速度算 通過算			
第6回目	小テスト1			

第7回目	流水算		
第8回目	精算		
第9回目	割合		
第10回目	順列 組合せ 確率		
第11回目	集合		
第12回目	グラフ 図形		
第13回目	小テスト2		
第14回目	まとめ1		
第15回目	学期末テストとまとめ2		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート			
調査報告書			
小テスト	40%		理解度の確認のため、小テストを2回実施する。配点はそれぞれ20点。
中間・学期末試験	60%		60点満点の学期末テストを実施する。2回の小テストの結果とあわせて、100点満点で採点する。
発表内容（態度含む）			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する。
教科書と参考図書			
履修上の心得・ルール			
平成25年度入学生（1年生用）科目である。			